

【件名】	日野橋仮橋設置工事（その2）	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都日野市大字日野地内から立川市錦町六丁目地内まで 一般都道八王子国立線（第256号）甲州街道	【受注者名】	巴山建設株式会社	
【工期】	令和3年8月31日から令和4年7月29日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 舎川 貴志	

【工事概要】

日野橋は供用開始から90年以上が経過しており、近年の大雨の激甚化も踏まえ、長期的な安全性を確保するため、早期に架け替える必要がある。本工事は、日野橋の架け替えに伴う仮橋設置工事のうち、下部工(KP1-KP3、KA1)および上部工1径間(KP1-KA1)の施工を行った工事である。

【表彰理由】（※発注者側評価）

施工時には、サイクリングロードを一部閉鎖して施工するため、切り回し道路を設置し、交通誘導員を24時間配置して、第三者事故の防止に努めるなど、無事故で湯水期施工の当初工期を遵守した。
また、ドローンによる空中撮影を行うことで、河川内の瀬替え工等の施工管理や他機関との調整に活用した。魅力発信モデル工事の試行対象案件として、高校生を対象とした現場見学会を実施し、公共工事の効果と必要性を広く周知した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

鋼管杭打ち止め管理において、支持層到達確認に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

築堤盛土材を2種混合土材にて施工することを提案しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

上部工架設の際は、日野橋の一部ではありますが、橋を架けることができるとも感動しました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

日野橋架け替え事業という大きな計画に携われることは他の職種では経験できないことなので、建設業はとても素晴らしい仕事です。

